

ワイドスパンにボイドスラブ

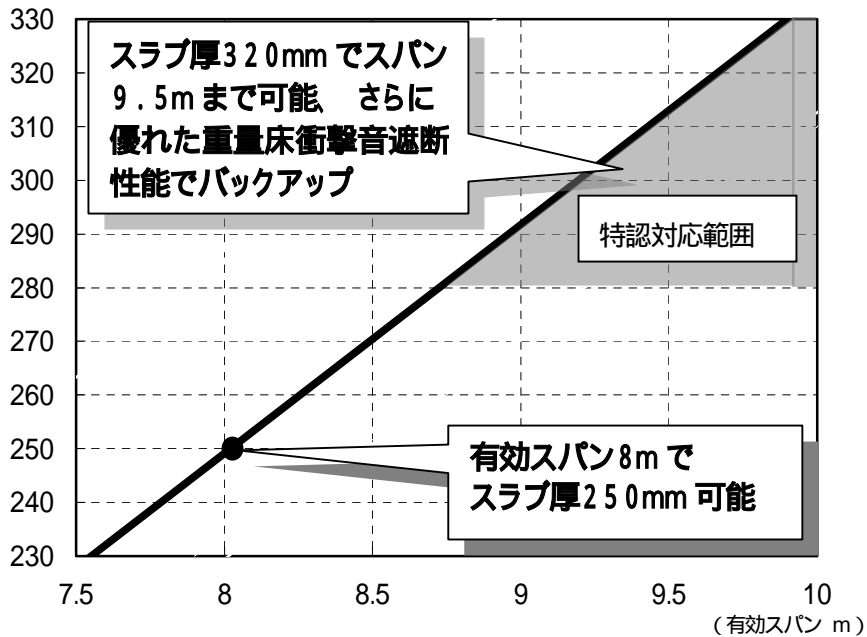
有効スパン8mで250mmのスラブ厚実現 PC鋼線不要でさまざまな要求に対応可能



カイザーボイドスラブの新評価にともない、**長期たわみ増大率**を16倍から**10倍**に低減。PC鋼線を内蔵せず小梁なしのワイドスパンが可能になりました。

(財)日本建築センター評価
BCJ 評価 - RC0169 - 01

(スラブ厚mm) 一方向ボイドスラブ厚 早見グラフ



<適用条件>

荷重 仕上: 0.6N/mm^2 積載: 1.8N/mm^2

両端は固定、リブ幅 150

段差による変断面は考慮しない

$L \quad L_x / 250$

二方向解析で、さらにスラブ厚を薄くすることが可能。

PC鋼線がないため、自由な段差・自由な開口に対応可能。

住宅性能評価の重量衝撃音対策等級表示が可能。

(等級5 ~ 等級3の表示が可能)

長期たわみ増大率設定の根拠

一方向試験体の長期たわみ増大率測定



スラブ端部にひび割れを生じさせた試験体

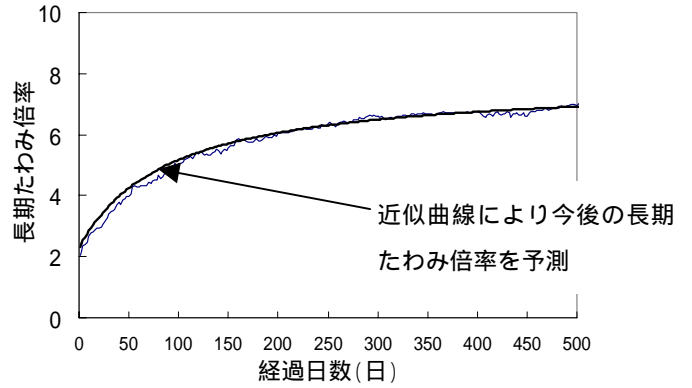
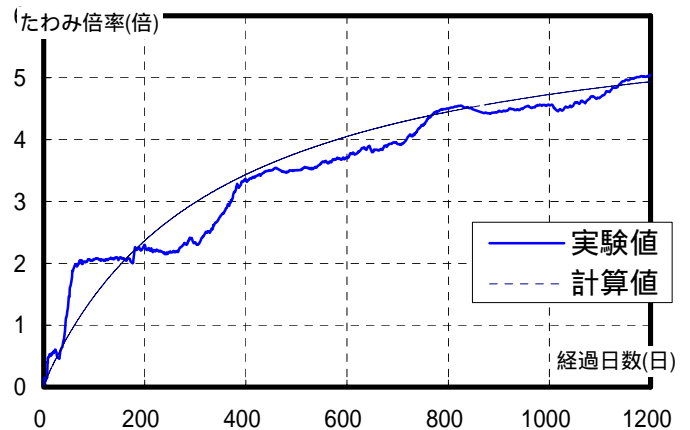
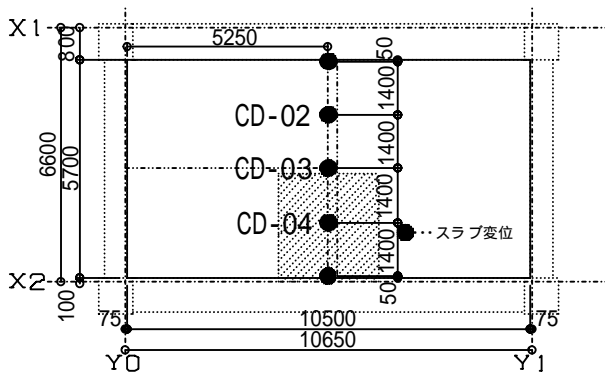


表 - 1 一方向試験体の弾性たわみ計算値と長期たわみ増大率

試験体名	弾性たわみ計算値 (mm)	500日経過後の 長期たわみ倍率測定値	100年後の 長期たわみ倍率予測値
DSL - 1	1.93	6.96	7.61
DSL - 2	0.99	7.47	8.07
DSL - 3	2.52	6.85	7.16
DSL - 4	0.82	8.19	9.59
平均		7.36	8.11

実大建物における長期たわみ増大率測定



試験体名	弾性たわみ計算値 (mm)	1200日経過後の 長期たわみ倍率測定値	100年後の 長期たわみ倍率予測値
Slab C	0.6	5.03	6.27



設計たわみ倍率 10倍

ハーフ PCa 板にプレストレスを導入した試験体

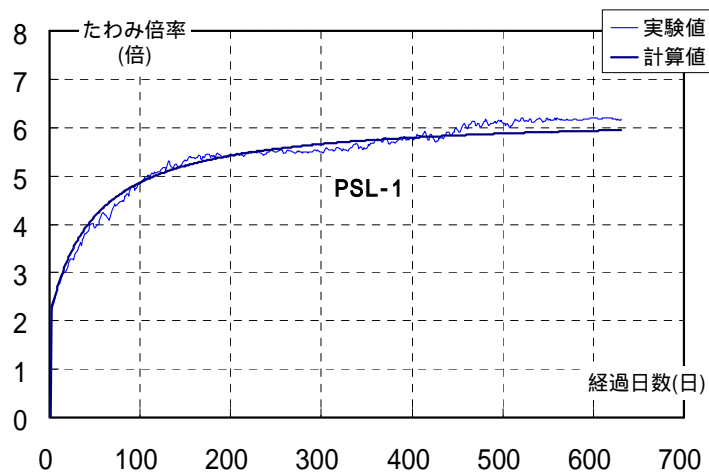
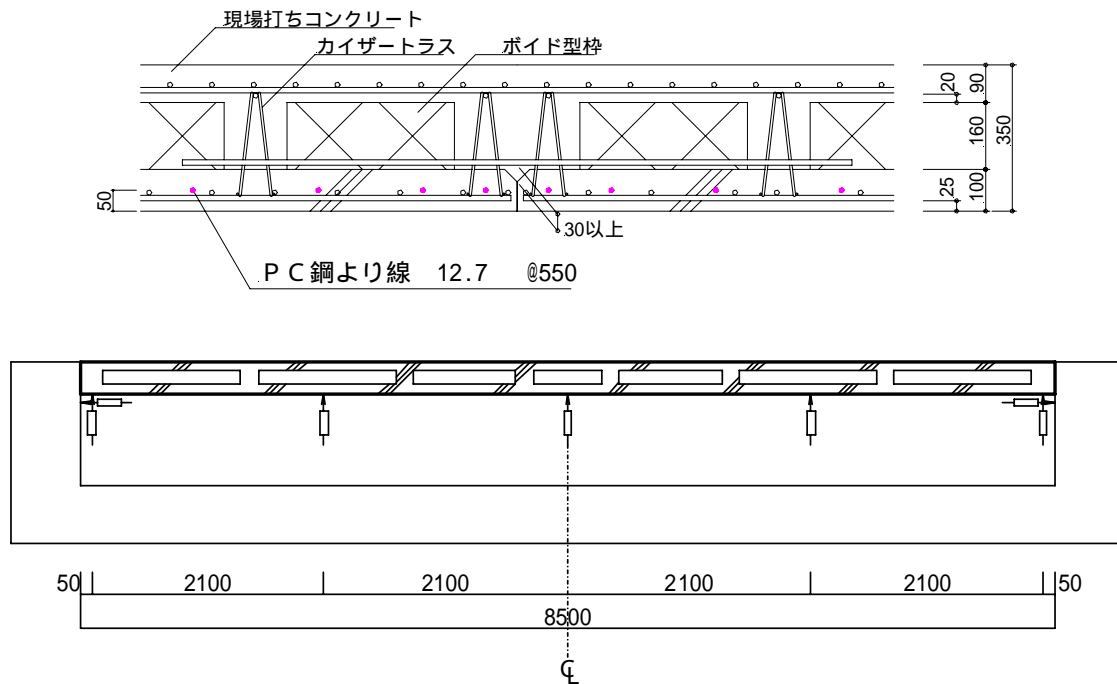


表 - 1 一方向試験体の弾性たわみ計算値と長期たわみ増大率

試験体名	弾性たわみ計算値 (mm)	630 日経過後の 長期たわみ倍率測定値	100 年後の 長期たわみ倍率予測値
PSL - 1	2.34	6.18	6.25
PSL - 2	2.34	7.07	7.22
PSL - 3	4.75	6.08	6.27
平均		6.44	6.58

設計たわみ倍率 8 倍